発効日　　令和5年7月14日

環境経営レポート

対象組織名：丸山グループ

関連事業所
丸山産業株式会社
本社・東京営業所・多摩営業所・前橋営業所
丸山化工株式会社
本社・東京事業所・前橋工場

対象期間　令和4年4月1日　～　令和5年3月31日

丸山産業株式会社・丸山化工株式会社
代表取締役社長
飯田　孝

≪目次≫

１．　環境方針　P-1・2

2.　事業活動の規模　P-3

3.　EA21推進体制　P-4

4.　環境目標とその実績　P-5・6

5.　環境活動の取組計画と評価　P-7

6.　環境関連法規制の遵守　P-8

7.　代表者による全体評価と見直し　P-8

環 境 経 営 方 針

〔基本理念〕

私たちは、地球環境を守り育て、明日を担う子供たちに胸を張って引継げるよう、
すべての企業活動を環境に配慮して行います。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1、当社の主力事業である、工業用ゴム製品の製造・販売・エンジニアプラスチックの素材販売・加工ベルト・ホース・コンベアー販売・省人化機器販売までの各領域において技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型の実現に努めます。

①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の削減に努めます。

②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。

③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。

④物流省力化製品を販売を通して、省エネ化の貢献を図ります。

2、環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組み、策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

3、事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を厳守します。

4、環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識を図ります。

5、環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミニュケーションを図ります。

2019年 8月 2日

丸山産業株式会社

代表取締役社長

飯田 孝

環 境 経 営 方 針

〔基本理念〕

私たちは、地球環境を守り育て、明日を担う子供たちに胸を張って引継げるよう、
すべての企業活動を環境に配慮して行います。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1、当社の主力事業である、工業用ゴム製品の製造・販売の領域において技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型の実現に努めます。

①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の削減に努めます。

②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。

③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。

④梱包資材の簡素化を徹底し、投入資源の削減に貢献します。

2、環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組み、策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

3、事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を厳守します。

4、環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識を図ります。

5、環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミニュケーションを図ります。

2019年 8月 2日

丸山化工株式会社

代表取締役社長

飯田 孝

２．事業活動の規模

1.　事業所及び代表者名

丸山産業　株式会社

代表取締役社長　飯田　孝

2. 対象範囲　以下の全組織、全活動を対象範囲とする

丸山産業株式会社：本社・東京営業所・多摩営業所・前橋営業所

丸山化工株式会社：本社・東京事業所・前橋工場

3. 所在地

〒124-0006　東京都葛飾区堀切3-14-14　（丸山産業㈱本社・東京営業所）

（丸山化工㈱本社・東京事業所）

〒207-0021　東京都東大和市立野4-502-10　（丸山産業㈱多摩営業所）

〒379-2111　群馬県前橋市飯土井町558-1　（丸山産業㈱前橋営業所）

〒379-2111　群馬県伊勢崎市市場町2-850-4　（丸山化工㈱前橋工場）

4. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者　：　代表取締役社長　飯田　孝

環境管理責任者　：　取締役　土屋　光広

担当　：　ＥＡ２１事務局　松野　太郎

TEL　：　03-3697-9248　（丸山産業㈱本社）　042-516-8471　（丸山産業㈱多摩営業所）

03-3697-8306　（丸山産業㈱東京営業所）　027-268-4931　（丸山産業㈱前橋営業所）

03-3697-8308　（丸山化工㈱東京事業所）　0270-62-6595　（丸山化工㈱前橋工場）

FAX　：　03-3697-8617　（丸山産業㈱本社）　042-516-8472　（丸山産業㈱多摩営業所）

03-3694-6855　（丸山産業㈱東京営業所）　027-268-4930　（丸山産業㈱前橋営業所）

03-3697-8617　（丸山化工㈱東京事業所）　0270-63-0786　（丸山化工㈱前橋工場）

5. 事業の内容

丸山産業㈱：産業用製品の販売　　丸山化工㈱：産業用製品製造

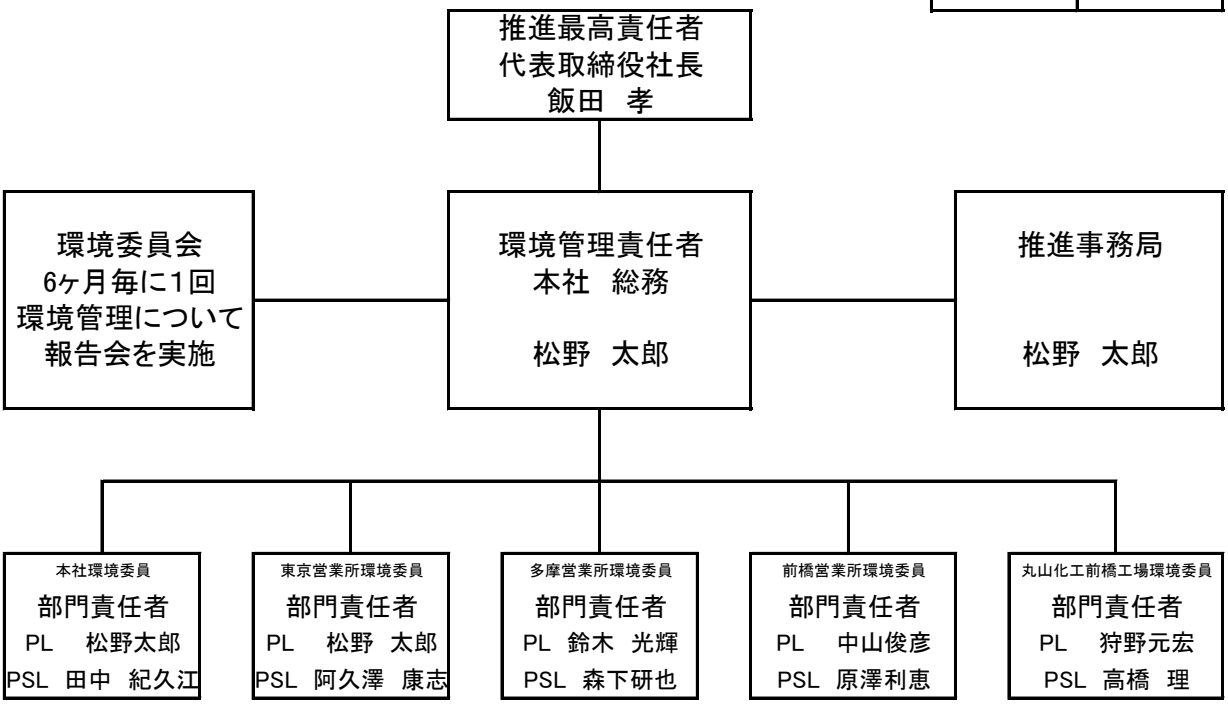
6. 事業規模

活動規模	単位		2021年度	2022年度
従業員数	人	丸山産業㈱本社・東京営業所	10	10
		丸山産業㈱多摩営業所	9	9
		丸山産業㈱前橋営業所	13	13
		丸山化工㈱本社・東京事業所	1	1
		丸山化工㈱前橋工場	9	9
敷地面積	㎡	丸山産業㈱本社・東京営業所	321.06	321.06
		丸山化工㈱本社・東京事業所		
		丸山産業㈱多摩営業所	352.96	352.96
		丸山産業㈱前橋営業所	671.07	671.07
		丸山化工㈱前橋工場	660.1	660.1

エコアクション21　推進体制組織図

作成日

承認	点検
飯田	松野



職名	役割
最高責任者 代表取締役社長 飯田　孝	①　推進事務局及び環境委員会をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②　エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・技術・技能を含む）を準備する。 ③　環境方針を制定する。 ④　エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者 松野　太郎	①　エコアクション21に関する経営資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②　エコアクション21の構築を運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局 松野　太郎	①　事務局として、環境責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	①　最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、3ヶ月に1回環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めたものは出席することができる。

4. 環境目標とその実績(1)

当社に於ける2020年度の環境負荷実績を把握し、2020年度～2022年度の目標を下記の通り定めました。
購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー2018年度の0.462kg-CO2/Kwhを用いています。
(丸山化工㈱本社・東京事業所の数値は丸山産業㈱本社・東京営業所の数値に含まれています。)

環境経営項目	2019年度実績		2020年度基準値		2021年度目標		2022年度目標		環境活動計画実施事項	対象事業所
	丸山産業㈱	丸山化工㈱	丸山産業㈱	丸山化工㈱	丸山産業㈱	丸山化工㈱	丸山産業㈱	丸山化工㈱		
売上高100万円あたりの二酸化炭素排出量に対しての節減	202.3	650.68	249.54	725.11	249.54	725.11	249.54	725.11	①空調温度適正化・表示(夏28℃冬23℃)	全事業所共通
									②照明・PC電源不要時のOFFの推進	全事業所共通
									③エアコン清掃の実施	全事業所共通
									④エコドライブ推進	全事業所共通
									⑤電力、ガソリン量の集計	全事業所共通
									⑥スポットエアコン有効利用	丸山化工㈱
									⑦材料倉庫空調設備2台→1台	丸山化工㈱
									⑧ｶﾚﾝﾀﾞﾀｲﾏｾｯﾄ時間の短縮	丸山化工㈱
									⑨管理項目の評価と削減方法の検討	全事業所共通
売上高100万円あたりの廃棄物に対しての節減	2.18	51.2	2.92	51.13	2.92	51.13	2.92	51.13	①廃棄物分別の徹底化	全事業所共通
									②廃棄物置場の点検	全事業所共通
									③排出業者との契約書の確認	全事業所共通
									④マニュフェストの管理方法の確立	全事業所共通
									⑤古紙再利用の推進(裏紙有効利用)	全事業所共通
									⑥パリ/不良品の低減	丸山化工㈱
									⑦材料費の低減	丸山化工㈱
									⑧ｺﾋﾟｰﾐｽの低減(特にカラー)	丸山化工㈱
									⑨移動票サイズ縮小化の検討	丸山化工㈱
									⑩管理項目の評価と削減方法の検討	全事業所共通
丸山産業㈱ 水資源投入量の削減 丸山化工㈱ 売上高100万円あたりの水資源投入量に対しての削減	282	4.02	267	4.46	267	4.46	267	4.46	①水道メータを確認する(漏水防止)	全事業所共通
									②節水表示	全事業所共通
									③節水コマの設置	全事業所共通
									④トイレの節水	全事業所共通
									⑤ﾛｰﾙ水量調節ﾊﾞﾙﾌﾞの設置	全事業所共通
									⑥管理項目の評価と削減方法の検討	全事業所共通
製品及びサービスに関する項目	319	－	丸山産業 物流省力化製品製品販売実績の把握 丸山化工 梱包形態の簡素化						①環境配慮商品を考慮し物品購入を心がける	全事業所共通
									②顧客からの環境情報収集の定着化	全事業所共通
									③物流省力化商品の販売額の把握	東京営業所・多摩営業所
									④製品梱包形態の簡素化(無梱包化)	前橋営業所・丸山化工㈱
化学物質使用量に対する削減	－	－	－	－	－	－	－	－	①化学物質の管理の徹底	前橋工場
									②排油の管理の徹底	前橋工場

4. 環境目標とその実績(2)

当社に於ける2020年度の環境負荷実績を把握し、2022年度目標を下記の通り定め集計した実績になります。
購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー2018年度の0.462kg-CO2/Kwhを用いています。
(丸山化工㈱本社・東京事業所の数値は丸山産業㈱本社・東京営業所の数値に含まれています。)

環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持
	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度
対象期間売上高(百万円)	1,143	945	1,027	945	983	90	69	92	69	92
売上高100万円あたりの二酸化炭素排出量に対しての削減【kg/売上高百万】	202.30	249.54	204.35	249.54	目標 249.54 実績 225.04 9.82%	650.7	725.11	670.36	725.11	目標 725.11 実績 635.45 12.37%
二酸化炭素総排出量	231,231	235,819	209,867	235,819	221,244	65,784	58,561	61,672	50,032	61,638

環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持
	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度
売上高100万円あたりの廃棄物に対しての削減【kg/売上高百万】	2.18	2.63	2.42	2.63	目標 2.63 実績 2.02 23.19%	51.20	51.13	22.72	51.13	目標 51.13 実績 31.34 38.71%
廃棄物総排出量	2,489	2,757	2,487	2,757	1,987	10,500	3,528	2,090	3,528	3040

環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持
	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度
丸山産業㈱ 水資源投入量の削減 丸山化工㈱ 売上高100万円当たりの水資源投入量に対しての削減【㎥/売上高百万】	282	272	282	272	目標 272 実績 282 -3.68%	4.02	4.46	4.16	4.46	目標 4.46 実績 3.57 19.96%
水資源総投入量	282	272	282	272	282	362	308	383	308	343

環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	実績	過去実績数値			基準値	目標2020年度実績に対して維持
	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度	2022年度
製品及びサービスに関する項目 単位【百万円】	319	226	305	226	238	梱包の簡素化 通い箱の利用、段ボール再利用の取り組みにより、資源削減に貢献				

製品及びサービスに関する項目及び化学物質使用量に対する削減に関しては数値目標は設けていませんが、各事業所において活動計画は実施しています。

５．環境活動計画の取組みと評価

丸山産業㈱

＊2022年度（2020年4月～2022年3月）の活動の取組みと評価をしております。

活動計画	目標	目標の達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価	次年度取組
1 二酸化炭素排出量の削減	2020年度実績に対して維持	9.82%減 ○	目標達成。 総量としても基準値より削減され売上高回復基調のため目標達成。	前橋営業所LED化、多摩営業所新築の為、基準となるような数値の把握
2 廃棄物排出量の削減	2020年度実績に対して維持	23.19%減 ○	目標達成。 産廃量が減ったことにより目標達成。	昨年同様、産業廃棄物をおさえながらも工事物件の売上を増やすことを考える。
3 水資源投入量の削減	2020年度実績に対して維持	3.68%増 △	目標未達成。 基準値はコロナ禍出勤調整を行っていたこともあり、総量が微増するのは自然であると考える。	現状通り、水漏れに注意しつつ、投入量が増えないように環境活動を継続する
4 製品及びサービスに関する項目	2020年度実績 226百万円	2022年度実績 338百万円	製品およびサービスに関する項目においては昨年同様物流省力化商品の売上高は回復貴重、回復基調を維持したいが、ウクライナ情勢による材料費高騰が得意先で影響が大きく設備投資が縮小傾向にある。	昨年同様、物流省力化商品の販売を推進できるよう、新入社員に商品知識習得の機会を増やしていく。

丸山化工㈱

＊2022年度（2020年4月～2022年3月）の活動の取組みと評価をしております。

活動計画	目標	目標の達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価	次年度取組
1 二酸化炭素排出量の削減	2020年度実績に対して維持	12.37%減 ○	目標達成。 排出総量も微減している。売上が回復基調のため目標達成。	昨年同様、最低限のエネルギー消費と考え、売上高の改善を目指す。
2 廃棄物排出量の削減	2020年度実績に対して維持	38.71%減 ○	目標達成。 産廃が大幅に減少したことと、売上高も改善傾向にあるため大幅達成。 産廃量を1年単位での基準を設けることが難しいかもしれない。	3年くらいの総量を確認して目標設定を検討する。
3 水資源投入量の削減	2020年度実績に対して維持	19.96%減 ○	目標達成。 水漏れの原因も改善したことにより、達成。	次年度の売上とともに使用量を再度把握し、適正な基準値を設定する
4 製品及びサービスに関する項目	－	－	梱包の簡素化はよく出来ている。 通い箱の利用、段ボール再利用の取り組みにより、資源削減に貢献。	現状通り、梱包の簡素化に取り組む
5 化学物質使用量に対する削減			漏えい防止措置及び緊急事態訓練の実施。 化学物質購入量の確認を行っている。	現状通り、使用量の確認、緊急事態訓練を行う

＊丸山化工㈱東京本社・東京事業所の各数値は、丸山産業㈱本社・東京営業所の数値に含まれています。

６．環境関連法規制の遵守

1．当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	当社の取り組み	遵守状況	対象
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	規制地域ではないので、現在のところ該当しないが、東京、多摩は東京都の条例を遵守	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
下水道法	排出基準の遵守	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託契約･ﾏﾆﾌｪｽﾄ管理･交付状況等報告書の提出	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
消防法	消防用設備の管理	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
水質汚濁防止法	排水分析の実施	遵法	丸山化工㈱
浄化槽法	11条検査の実施	遵法	丸山化工㈱
振動規制法	設置･変更の届出	遵法	丸山化工㈱
悪臭防止法	規制基準の遵守	遵法	丸山化工㈱
労働安全衛生法	作業環境測定の実施	遵法	丸山化工㈱
化学物質排出把握管理促進法（PRTR制度）	対象物質の使用量の把握	遵法	丸山化工㈱
群馬県の生活環境を保全する条例	設置･変更の届出	遵法	丸山化工㈱

2．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規は、2022年3月までの確認をし、遵守しています。

関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7．代表者による全体評価と見直し

総括：

通年の課題になるが、従業員の育成が課題。

2020年度コロナウイルスの影響による売上高の激減からの売上回復傾向から2022年度の目標達成ができたことは評価できている。

引き続き売上高を改善していくこと、新しい営業方法の模索、新人育成等今後の施策が必要。

エネルギー資源の高騰、材料費の高騰も踏まえ、エコアクションの取り組みは、社内コストの見直しにもつながることなので人材教育とあわせて、環境貢献の意識も高め活動を継続していくこと。

多摩営業所の新築及び、前橋営業所の蛍光灯LED化で基準となる数値の把握に勤めること。